

新型コロナウイルス感染職員の発生について

今般、当センターに勤務する職員が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。皆様にはご心配をおかけいたしますが、感染拡大防止に全力で努めておりますので、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

1 勤務する職員の概要

看護師（病棟勤務） 20歳代 女性

当該看護師は新型コロナウイルス感染症患者が入院している病棟に勤務。

個人防護服の確実な着脱など感染防止対策を行っていたため、入院患者との濃厚接触者に該当していません。

2 経過、症状

5月13日（水） 勤務後、夜から38.7度の発熱、頭痛、悪寒あり。

5月14日（木） 38.3度の発熱、喉の不快感、声のかすれあり。（出勤なし）

同日、核酸増幅法検査（LAMP法）を受検し、陽性判明。

3. 行動歴

5月12日は出勤なし。5月13日の勤務後、夜から発熱等があり、5月14日も発熱等が持続していたため、核酸増幅法検査（LAMP法）を受検し、陽性判明。現在、自宅療養中。

感染経路は保健所において調査中。

4. 接触者

当該看護師は、勤務中は常時マスクを着用し、手指衛生を徹底するとともに、病室内では個人防護服を着用していました。また、休憩時の飲食の際、他の職員と距離を空ける注意を払っていましたが、近い距離に他の職員1名いたことが判明したため、濃厚接触者として本日から2週間の自宅待機としております。

なお、当該濃厚接触者の健康状態について、現時点では体調の変化はありません。

5. 感染拡大防止策

陽性判明した職員の勤務する病棟においては、日頃から頻回に次亜塩素酸系消毒薬で消毒清掃を行い、感染拡大防止策を講じています。今般の感染判明を受けて、改めて当該病棟及び陽性判明した職員の利用した可能性のある場所について消毒清掃を行いました。

6. 今後の診療体制

当該病棟は、新型コロナウイルス感染症対応病棟ですが、感染領域と非感染領域の動線管理が破たんした可能性は極めて低いと判断したため、病棟閉鎖は行いません。